

感染症発生状況

平成30年10月18日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成30年10月9日（火）～10月12日（金）の定点における発生状況をお知らせします。
定点23園の対象園児数（定員）は2,716名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】291名 【職員】11名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】72名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数74名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状：熱（123名）、咳・鼻水（48名）、下痢・腹痛（28名）、充血（10名）

疾病別：気管支炎・肺炎（15名）、手足口病（8名）、溶連菌感染症（7名）、ヘルパンギーナ（6名）

【職員】症状：熱（1名）、咳・鼻水（1名）、咳・鼻水（1名）

疾病別：腸管出血性大腸菌感染症（4名）、胃腸炎（1名）

RSウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎、手足口病、リンゴ病が昨週同様の形で流行しています。

【症状別の発生状況】

気管支炎・肺炎 玉山，厨川，河南地域で減少。河北，盛南，都南地域で増加しました。

手足口病 厨川，都南地域で減少。河南，都南地域で増加しました

溶連菌感染症 盛南，都南地域で増加しました。

ヘルパンギーナ 厨川，河北地域で減少。都南地域で増加しました。

胃腸炎 玉山地域で減少。河北，盛南地域で増加しました。

【県の状況（10/1～10/7）】

RSウイルス感染症は、減少傾向にありましたが再び増加し、奥州，県央及び釜石地区で多くなっています。患者の咳やくしゃみ，ウイルスが付着した手指などから感染するため，咳エチケットや手洗いによる予防が重要です。

ヘルパンギーナは，例年9月上旬まで多く報告されますが，今年は報告の多い状況が長く続いています。予防には，患者との濃厚接触やタオルの共用を避け，十分な手洗いや排泄物の適切な処理を行うことが重要です。

インフルエンザは，中部地区に加えて，盛岡市からも報告がありました。報告数，発生地区ともに今後の動向に注意が必要です。予防には帰宅後の手洗いと体調管理が重要です。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】